

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016・2017 年度

ガバナー月信
2016.07.01 Vol. **1**

CONTENTS

RI 会長からのメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	19
ガバナーメッセージ	3	会員数および出席報告	20
直前ガバナーからのメッセージ	4	コーディネーターNEWS	21
地区幹事・財務委員 挨拶	5	ハイライトよねやま	22
ガバナー補佐 挨拶	6	ロータリー文庫通信	24
委員長 挨拶	8		
ガバナー公式訪問日程	18		

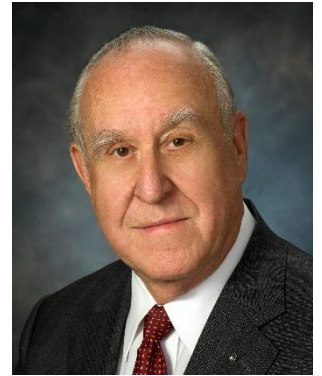
2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

人類に奉仕するロータリー

2016-17 年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



111 年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界 34,000 以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍するときが来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RI のレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつづっています。

「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か 120 万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになろうとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。

「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて



国際ロータリー
2016-17 年度テーマ



—— ジョン F. ジャーム RI 会長 略歴 ——

CHATTANOOGA ロータリークラブ所属 (米国 テネシー州)

エンジニアリングのコンサルティング会社、Campbell and Associates 社の理事兼 CEO。同社に入社前は空軍に 4 年間在籍。Public Education Foundation と Orange Grove Center の理事および執行委員、Blood Assurance の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長。

1970 年に「Tennessee Young Man of the Year」賞、1986 年に「Engineer of the Year」賞、1992 年に「Volunteer Fundraiser of the Year」賞、2009 年に「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」賞を受賞。そのほか、「Boy Scouts Silver Beaver Award」賞と「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」賞を受賞し、2013 年に米政府より「Champion of Change」として表彰される。

1976 年にロータリー入会。以来、RI 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリー 2 億ドルのチャレンジ委員長、RI 理事会執行委員、RI 会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、多数の委員会委員長、エリアコーディネーター、RI 研修リーダー、地区ガバナーを歴任。

RI 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・クランフ・ソサエティ会員。お二人には、4 人のお子さんと 6 人のお孫さんがいます。

就 任 挨 拶

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



2016-17 年度が始まりました。山本和則年度の役員の皆様ご苦労様でした。新しい地区リーダーシップチームは、クラブ会長・幹事の皆さんからのご協力を頂きながら、新保清久年度に引き継げるように勤めますので、今後とも宜しくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

国際ロータリーのジョン F. ジャーム新会長は「ROTARY SERVING HUMANITY、人類に奉仕するロータリー」を、RI テーマとしました。それを受けた地区テーマは「基本を学び、地域と共に」です。

ジャーム RI 会長は、ポール・ハリスが 111 年前にロータリーを創設した目的、すなわち「価値観を分かち合える人を見つける」ということは、今日も人々がロータリーに入会する理由となっています。誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を信じ、人生の最大の目的は人類の為に奉仕することだと信じている人々に会うことです。そして、ポール・ハリスが信じたように、人生の最大の目的は HUMANITY に奉仕することです。また、ポール・ハリスが生存していると仮定し、現状を見た彼が何を思い、何をするか、それを想像し実践することが重要です。

ロータリーの目的と中核的価値観は不変です。ロータリーは、誰とでも仲良くし、約束を守り、多様な考えを許容するように努力する人がリーダーシップと職業の知識を生かし、地域社会の問題に取り組む国際的連合体です。

地域と共に humanity に奉仕する各クラブ独自の活動を期待します。その為に、会員が満足するクラブ奉仕と会員増強をお願いいたします。

また、2016-17 年度地区リーダーシップチーム会議、クラブ会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会で定め、諮問委員会の手承を得た地区数値目標があります。これらはジャーム会長の要請に応えるため、地区自身が掲げた目標ですので達成するようにご協力お願いいたします。

月信は前年度まで印刷物でしたが、2016-17 年度から Web のみでの発信となります。毎月インターネットで配信をご確認することで、インターネットに慣れていただき、時間が許す限りマイロータリー等で世界の動きを確認されることをお勧め致します。

公式訪問でお目にかかることを楽しみにしつつ、簡単ですがガバナー就任にあたりご挨拶を申し上げます。

田中年度スタートにあたって

国際ロータリー第2560地区
2015 - 16年度 ガバナー
山本 和則（新潟南 RC）



いよいよ田中年度が始動されます。1月の米国サンディエゴにおける国際協議会、3月のPETS、そして4月の地区研修・協議会と順調にプログラムを終了され、その準備を全て調えられて、ここにスタートされます。

ジョン・ジャームR I会長のテーマは、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標(理念の礎)、すなわち奉仕のためということから「Rotary Serving Humanity」「人類に奉仕するロータリー」と発表されました。そして、「ロータリーへの入会は小さな機会ではなく、偉大な機会だ」とも述べられました。

田中政春ガバナーの地区目標は、地域でのロータリー活動が低迷しており、その活動を活性化する必要があり、基本を学び直すことが大切となり、それぞれのクラブが地盤としている地域の問題に関与すべきということから「基本を学び、地域と共に」とされました。地区の現状を鑑みた時に、今取り組むべき課題を真正面から捉えた素晴らしい目標だと思っております。数値目標におかれましても、会員増強、R財団(年次基金、ポリオ、ベネファクター、P・H・F、P・H・S)、米山記念奨学金、アトランタ国際大会等に、具体的かつ現実的な数値を設定され、ガバナー補佐、地区の委員会、各クラブの会長、幹事の皆様が行動し易い目標を定められました。ここまでの軌跡を拝見いたしますと、田中年度は素晴らしい一年になると私は確信しております。

結びに、7月から12月までは、各クラブへの公式訪問の日程がびっしり組み込まれています。精神面はもちろんのことですが、体力面におきましても相当な負荷が掛かってまいります。ご健康には十二分にご留意され、ご活躍されますことをご祈念申し上げまして、パストガバナー新一年生からの祝福の言葉とさせていただきます。

2016～2017年度 田中政春ガバナー年度のスタートにあたり

国際ロータリー第2560地区
地区幹事 小林 敏夫（長岡西 RC）



長岡西ロータリークラブ発足（1983）以来、初めての2016-2017年度RI第2560地区ガバナーとして田中政春氏が就任致しました。昨年2月にガバナーエレクトに就任が決まり、以来昨年9月にガバナー事務所開設、今年1月には、田中ガバナーエレクトがアメリカサンディエゴで開催された国際協議会に参加致しました。2016-2017年度RI会長のジョンF・ジャームRI会長は、テーマとして「人類に奉仕するロータリー」を提唱されました。RI会長テーマを受けて田中ガバナーエレクトは第2560地区テーマに「基本を学び、地域と共に」を掲げられ、将来ロータリアンのリーダーとなれるロータリアンを「前年度末比 3%純増」を大目標に提唱されました。

3月に会長エレクト研修セミナー（PETS）4月に地区研修・協議会を開催して参りました。パストガバナーを始め田中年度会長、幹事、地区役員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

いよいよ7月から新潟南クラブから公式訪問がスタートします。私たちガバナー事務所は地区内56クラブの活性化の活動に少しでもお手伝い出来れば幸いです。

何かと至らぬところ、不行き届きの点が有ろうかと存じますが、地区運営スタッフ並びに事務局スタッフ共々、努力して参る所存でございますので全ロータリアンの皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

田中政春ガバナー年度スタートにあたり

国際ロータリー第2560地区
地区財務委員 相田 東洋雄（長岡西 RC）



いよいよ田中年度が始まりました。田中ガバナーエレクト期間のクラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）地区研修・協議会を皆様のご協力、ご支援により滞りなく終了させていただきました。私も財務委員を拝命し任務の重さを痛感するとともに、心をひきしめ職責を全うする所存でございます。

また、田中年度は財務担当副幹事（渡辺雅志・長岡西RC）を新たに置き予算の執行に万全を期します。田中年度の予算は3月12日PETSで説明させていただきました、4月23日地区研修・協議会においてご承認をいただきました。田中年度においては会員数を2,100名として計上し、前年からの会員負担額を変更せず、一般会計、特別会計を見直し調整をいたしました。ガバナー補佐、各委員会からは予め事業予算書を提出いただき、ほぼ計画通りの予算配分が出来ました。予算の執行に当たっては、ロータリーの精神、秩序に基づいたご使用をお願いいたします。

地区資金会計基準を遵守し、皆様からご負担いただきました資金を厳正に運用してまいりますので、ご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



第1分区 ガバナー補佐

吉田 忠廣（新発田中央 RC）

志を同じくする各クラブの皆様 この度、第一分区のガバナー補佐という重席をいただきました。一年間田中ガバナーの方針を伝えるために、努力する所存でおります。皆様のクラブへスタッフ共々訪問させていただきますので、職業理論を重んずる会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い致します。



第2分区 ガバナー補佐

馬場 伸行（新潟西 RC）

第2分区ガバナー補佐を務めます、新潟西RCの馬場です。田中ガバナーを補佐し、ガバナーの方針を9クラブに徹底しクラブ運営が効果的に行なわれますように努めます。経験不足ですが、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。



第3分区 ガバナー補佐

佐藤 渉（五泉 RC）

田中年度の第3分区ガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました。五泉ロータリークラブの佐藤渉です。田中ガバナーの掲げるテーマ「基本を学び、地域と共に」の運営方針に従って分区内のクラブの交流を密にし、情報交換を行いながら、ロータリーの友情を通して目標意識を高め合いたいと思います。どうぞ、各クラブの皆様のご協力をよろしくお願い致します。



第4分区 ガバナー補佐

森山 一理（加茂 RC）

「夢と感動と勇気、笑い」をモットーに、また一明るく楽しく美しくーをテーマに日夜様々なシーンで活動させていただいております。ロータリーは「人間性を高める。」という先輩の言葉を胸に努めております。私は、ロータリーソング「♪日も風も星も♪」が大好きです。IMでも歌いたいと考えております。さあ、一緒に歌いましょう！



第5分区 ガバナー補佐

伊丹 敏彦（長岡東 RC）

財団 100 年の記念すべき年次に当たります。

ガバナーは地域と共に実践を標榜されているのでは？と思います。

何かにチャレンジする事に意義があります。

モンゴルのガラーさんは財団奨学生の OB で現在ロータリークラブの会長を努めておられるそうです。モンゴルと云えば遊牧民。識字率の向上が求められているのではないのでしょうか？



第6分区 ガバナー補佐

吉田 武彦（小千谷 RC）

第6分区ガバナー補佐を務めさせていただきます。

田中ガバナーが掲げる地区目標の達成に向け、分区内各クラブの機能を充実させるためにクラブの運営に関わる活動の全てを支援いたす所存です。皆様のご協力をお願いいたします。



第7分区 ガバナー補佐

佐藤 明臣（新井 RC）

世界の平和と奉仕の理想を掲げ、いよいよ 2106 名の会員とともに、田中ガバナーの出航です。

8 クラブの皆様とお会い出来ます事を楽しみに、ガバナーを補佐し、R I、地区運営方針に沿って、それぞれの目標が達成できますよう、務めてまいりたいと思います。



クラブ奉仕委員会

委員長 浦上 義昭（長岡西 RC）

RI 会長の提唱する中で、優先項目第一の会員増強こそロータリーが会として存続し発展するための必須の条件です。

具体的には会員数の3%以上の純増です。会員数50名以下の小クラブは少なくとも1名の純増、51名以上の大クラブは2名以上の純増を目標にしたいと考えています。

近年の社会情勢を考えますと、簡単ではないでしょうが、各クラブがグループを作って増強活動をしたり、入会候補者を例会に招いたり、複数回訪問したり、過去の退会者の再勧誘など創意工夫をお願いします。

広報についてはまだまだ足りないのが実情です。

世界で良い事をして来たロータリーの功績を色々な機会を捉えて、皆に知って貰いましょう。国際大会には20名以上の参加者を希望しています。会員各位の参加をおまちしています。

「会員増強セミナー」や「新入会員研修セミナー」等を開催し、目標達成を目指します。



職業奉仕委員会

委員長 佐藤 一男（栃尾 RC）

2016～2017 年度 職業奉仕委員長を拝命いたしました佐藤一男でございます。一年間お願い致します。

「四つのテスト」を心の中心とした活動をしてもらいたいと思っております。

又、社会奉仕なくして職業奉仕なし 職業奉仕なくして社会奉仕なし

岸 社会奉仕委員長とスクラムを組み積極的な奉仕活動に参加して参りたいと思っております。10月には、職業奉仕委員会セミナーを開催予定ですので、多くの皆様のご参加お願い致します。



社会奉仕委員会

委員長 岸 伸彦（長岡東 RC）

当地区、田中ガバナーのテーマは、「基本を学び、地域と共に」であります。当年度、社会奉仕委員会では、上記テーマに即した活動テーマを「当地域に根差した、積極的な社会奉仕活動により、各地域におけるロータリーの認知度や理解を深めること。」と致しました。

社会奉仕の基本を改めて考えた時、ロータリー110余年の歴史には常に様々な社会生活における奉仕活動がありその存在感を強固にしてきたものと考えています。奉仕を当地域の奉仕活動の二ーズに沿った中で一層密着した活動を推奨していくことが、地区のロータリアンはじめ多くの人の個人生活、事業生活、社会生活に貢献していくことと考えております。

一隅を照らす活動により全てのロータリアンに奉仕の理想が波及し普及化することを目標に精進してまいります。各クラブ様のご協力、関係各位のご支援をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。



国際奉仕委員会

委員長 米山 孝之（長岡 RC）

2016-2017年度第2560地区の国際奉仕委員会委員長を務めさせていただくことになりました。拙い点、至らぬ点が多々あるかと存じますが、1年間よろしくお願い申し上げます。

さて、手続要覧によりますと、ロータリーの国際奉仕は、「書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである」とされています。

そこで当委員会は、このロータリーの国際奉仕を実践するため、以下の基本方針を立てました。

1. 海外のロータリアンやロータリークラブとの交流の促進
2. グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクトへの参加
3. ロータリー国際大会への参加

以上の基本方針に基づいた具体的な事業計画として、青少年交換委員会と連携した国際奉仕フォーラムの開催を予定しております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



青少年奉仕委員会

委員長 高橋 正明（新発田中央 RC）

2016-17 年度 国際ロータリー会長 ジョン・F・ジャーム氏のテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

そして 2560 地区ガバナー田中政春氏のテーマ

「基本を学び 地域と共に」

をもとに、青少年奉仕委員会の基本方針をふまえ、「友人に出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びとの絆を育み、キャリアを築き、他では味わえない貴重な体験をすること」ができるようにしたいと思います。

ロータリークラブの青少年奉仕活動は、1959 年にオーストラリアのブリスベンで現在のライラに近い型の青少年指導者育成研修会として最初の取組が始まり、その後公式には 1962 年にインターアクト、1967 年にローターアクト、1970 年にライラが始まり、50 年以上の歴史があり、ロータリークラブそのものを発展させるためにも、また、国際ロータリー会長の言葉の通り「ロータリーには世界を変える力、ネットワーク、知識の集積がある」ということを青少年が理解し、ロータリーのすばらしさを体験するためにも、さらに青少年奉仕活動全体を、ステップアップしたいと考えています。

そのために、

- ① 2560 地区の各分区の全てのロータリークラブが連携して、分区内のインターアクト・ローターアクトの会員増強と活動への協力をするよう努力していただくこと。
- ② ライラへは全てのクラブから参加者を出していただくこと。
- ③ 分区にインターアクト、ローターアクトがない各ロータリークラブは近隣分区への協力を行うようにすること。
- ④ ロータリークラブ独自の青少年奉仕活動の内容をさらに充実すること。

以上を地区青少年奉仕委員長として、各ロータリークラブの青少年奉仕活動の具体的行動としていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



インターアクト委員会

委員長 清水 信博（高田東 RC）

青少年奉仕委員会 インターアクト委員長を仰せつかりました、高田東クラブ 清水信博です。どうぞ宜しくお願いいたします。

青少年育成をいろいろな切り口で活動を進める青少年奉仕委員会の中で特に高校生という若い方々との関りの委員会です。世話クラブでなければ、なかなか関心が持てないと思われそうですが、決してそうではありません。

その地域の高校生はその地域の宝です。彼等の行動いかんによって、その地域が発展するかどうかが懸かっています。ロータリーの「社会奉仕活動」「国際親善活動」を彼らと共に行うことにより、大いなる成長を期待していきたいと思います。

早速、田中年度初めに、インターアクトクラブ年次大会が 妙高の地で開催されます。世話クラブのロータリー以外の方々も是非ご参加頂き、高校生の活動を見て頂きたいと思います。その後、3月、4月には台湾高校生との親善交流事業などを控えています。

今年度、各クラブの皆様のご協力を頂きながら進めてまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。



ローターアクト委員会

委員長 吉井 直樹（三条 RC）

2560 地区 2016-17 年度青少年奉仕委員会ローターアクト委員長を務めさせていただきます、三条 RC の吉井です。皆様には日ごろから各地ローターアクトの活動にご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。本年も変わらぬご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

さて、本年の委員会基本方針として、下記三点を揚げさせていただきました。

- 1、ローターアウトの本質を追求し、活動の活性化と推進を図る
- 2、アクターの資質向上に役立つよう助言、指導を行う
- 3、アクト活動をロータリアンへいっそうの周知と会員増強への助力

ローターアクトの活動も基本は各クラブの活動を大切にしていきたいと思います。

そのうえで地区がお手伝いや、各クラブの成果の発表の場として盛り上げられるよう、その支援をこの委員会で考え行きたいと思います。

提唱クラブのみならず、近隣のクラブからの積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。



ライラ委員会

委員長 吉田 和弘（新潟 RC）

2016-17年度のライラ委員長を拝命いたしました、新潟クラブ所属の吉田和弘と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

ライラ委員は、年に1度、16歳から30歳までの青少年に対し、リーダーシップの涵養を目的とした研修を行っております。

今年度は、10月22日（土）・23日（日）の両日、新潟市中央区紫竹山にありますSTEPを会場に、「新潟のリーダーに学ぶ」というテーマで研修を実施いたします。ホストクラブである新潟クラブのメンバーを講師役とし、パネルディスカッションやひざ詰めの質疑応答など行い、親しく交流を図りながら、さまざまな業界で活躍するリーダーの人柄に触れることで、今後の社会人としての指針を持ってもらえることを狙いとしております。

ロータリアンならびにご関係の皆様のご参加をお待ちしております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



青少年交換委員会

委員長 本間 啓介（村上 RC）

今年度は、青少年交換学生の安全な留学生活を送るために危機管理に関するシステムの構築と青少年交換学友とのコミュニケーションのための仕組みを作りたいと考えています。

危機管理のシステムは簡単に申しますと、今現在、学生はどこにいるのかを情報共有することで災害の時などに対していつでも安否確認できる状態を構築します。

もう一つ、私は青少年交換学友と派遣先でお世話になったホストファミリーまたは、インバウンドで来日した学生と日本で世話をさせていただいたホストファミリーとの関係を、1ヶ月とか1年とかではなく、もっと長く交流すべきだと考えております。

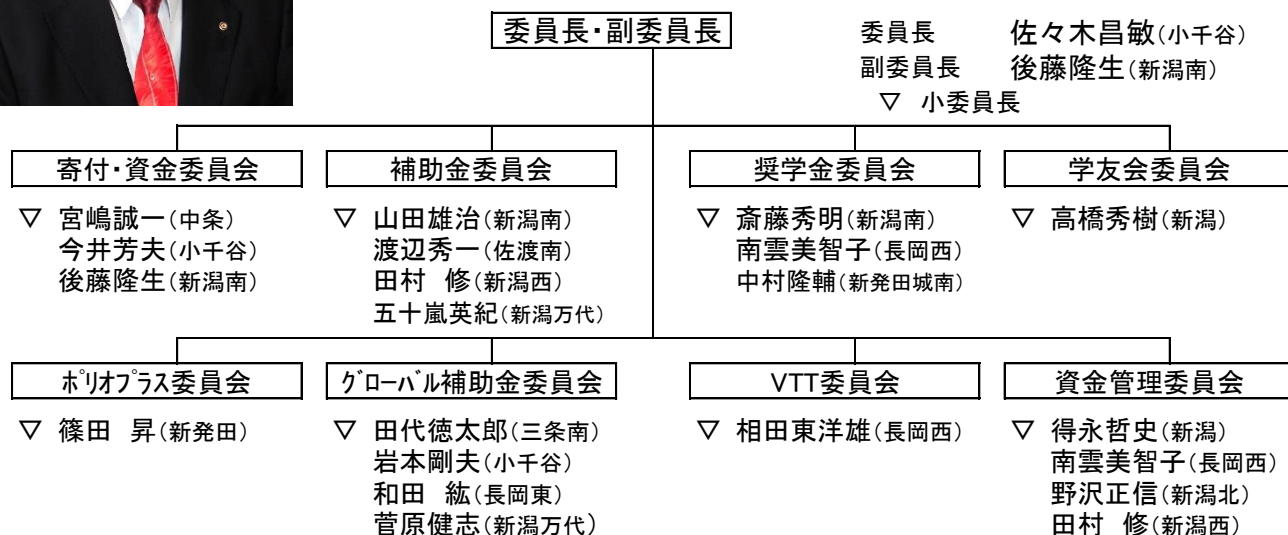
そのための仕組みも構築する予定です。



ロータリー財団委員会

委員長・パストガバナー 佐々木 昌敏 (小千谷 RC)

2016-17 年田中年度のロータリー財団委員会は、委員長・副委員長のもとに、下記 8 つの委員会で構成されています。



1. ロータリー財団の研修充実

とかく財団は難しいと言われます。財団の理解なくして、奉仕プロジェクト、寄付はすすみません。地区の研修だけでなく、クラブの卓話、分区単位の研修にも委員会メンバーが出向いて、お手伝いをします。

2. ロータリー財団資金の有効活用

地区補助金とグローバル補助金の特徴を理解し、なかでも、各クラブが地域ニーズを把握して地区補助金を活用するよう取り組みます。

3. ロータリー財団への寄付増進

R 財団 100 周年を祝い、R 財団の意義、R 財団のシェアシステムを周知徹底して、R 財団への寄付増進を計ります。各クラブ財団委員長の皆様をお願い申し上げます。

年次基金	150 米ドル／会員
ポリオ特別寄付	15 米ドル／会員
ベネファクター	10 名以上／地区
P.H.F	56 名以上／地区
P.H.S	10 名以上／地区

4. ロータリーカードの加入促進

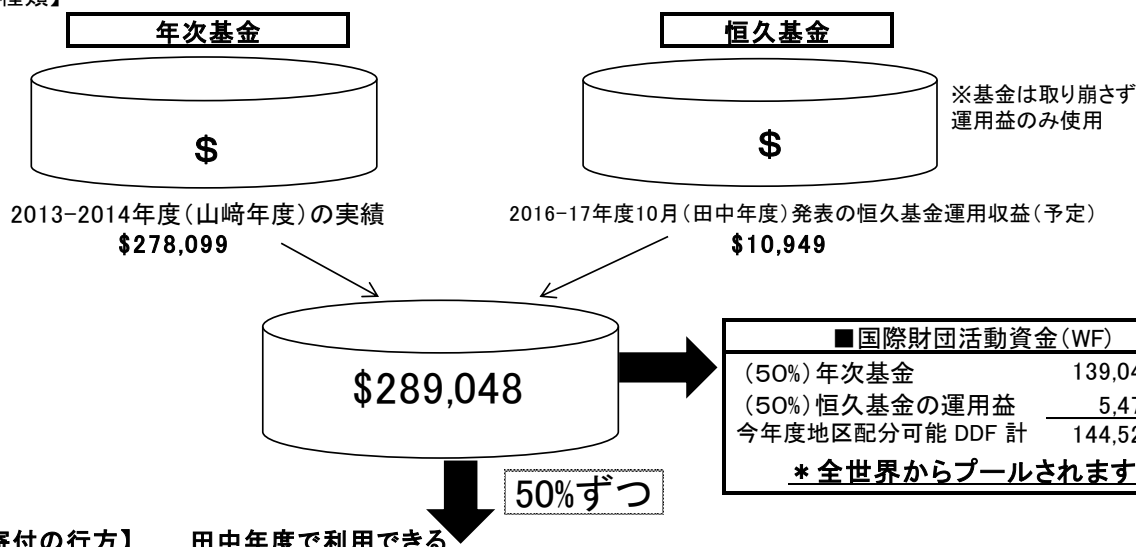
ロータリーカードでの買い物は、個人用カードは 0.3%、法人用カードは 0.5%財団へ自動的に還元されて、ポリオ撲滅のための資金に役立てられます。

5. ロータリー・コーポレートカードの導入

ロータリークラブカード、ロータリー地区カード、ロータリー委員会カードを導入し、経費処理の効率化を図るとともに、ポリオ撲滅に貢献します。(カード利用額の 0.3%)

RID2560の寄付金の種類と行方 (2016-17年度 田中年度)

【寄付の種類】



■地区財団活動資金(DDF)

(50%) 年次基金	139,049 ドル	前年度未使用金	30,135 ドル
(50%) 恒久基金の運用益	5,475 ドル	前年度年度DG返還金	21,805 ドル
今年度地区配分可能 DDF 計	① 144,524 ドル	前年度未使用額 計	② 51,940 ドル

今年度DDF総額 ① + ② = ③ 196,464 ドル

地区補助金(DG)使用可能額 ① × 50% = ④ 72,262 ドル GG、寄贈使用可能額 ③ - ④ = 124,202 ドル

地区補助金(DG)使用額 (①の半分以上まで)	
1・地区奉仕プロジェクト	40,000 ドル
2・第2560地区奨学金 ※1	30,000 ドル
3・資金管理セミナー、地区奨学生選考会・オリエンテーション費	2,100 ドル
4・管理費	162 ドル
5・職業研修チーム派遣(VTT)	ドル

※1 田中年度では2名の奨学生の派遣を予定しています。

グローバル補助金(GG)	
1・人道的プロジェクト	30,000 ドル
2・財団奨学金	25,000 ドル
3・職業研修チーム派遣(VTT)	ドル

寄 贈	
1・ロータリー平和センター寄贈	10,000 ドル
2・ポリオプラス寄贈	20,000 ドル
3・他地区に寄贈	ドル

使用可能額 39,202 ドル

注意事項

- ・グローバル補助金には申請限度額はなく、地区補助金で申請しなかった分のDDFが使用可能です。ただし、地区補助金より制限されます。
- ・地区補助金申請限度額はDDFの50%まで、地区補助金臨時費は地区補助金申請限度額の20%以内、管理費は3%以内が申請限度額です。
- ・前年度繰越金は前年度の8月に、恒久基金運用益は前年度の10月に、年次基金は3年度前の寄付実績より金額が決定されます。
- ・次年度への繰越金は次年度のDDFに繰り越されますが地区補助金配分計算の対象外となります。
- ・地区補助金配分限度額の決定にのみ、恒久基金は年度開始前に決定しないため前年度の数値を使用して計算をします。
- ・グローバル補助金は\$15,000以上のDDFをしたプロジェクトで、同額がWFから支給されます。(現金寄付分はその50%と同額が支給)
- ・このタンク表は随時実情に合わせて更新しております。

2016.03.05現在



米山記念奨学委員会

委員長 田中 雅史（新潟南 RC）

○ ロータリー米山記念奨学会とは

勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

○ 当地区受入れ奨学生 新規 18 名 継続 3 名 合計 21 名

※国籍 8（中国、ベトナム、モンゴル、メキシコ、韓国、インド、エリトリア、カンボジア）

※所属学校 9（長岡技術科学大学、新潟大学、事業創造大学院大学、敬和学園大学、国際大学、上越教育大学、新潟工科大学、長岡大学、新潟産業大学）

○ 活動方針

10 月の米山月間と諸行事・活動を通して、より多くの地区内ロータリアンに米山事業の意義と活用法について啓蒙し推進を図ります。

○ 小委員会活動内容

・ 寄付増進委員会

2 回の米山委員長セミナーやクラブへの卓話訪問を通して、事業の意義を啓発し、寄付増進を図ります。

・ 奨学生選考委員会

大学説明会・奨学生選考会・奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会を開催します。

・ 奨学生・学友委員会

奨学生・世話クラブ・カウンセラーの連絡調整、並びに奨学生OB会である学友会運営のサポートをします。

米山記念奨学委員会 年間スケジュール

	年月日	行事名	出席対象者
2016年	7 月 27 日(水)	大学担当者向け米山制度説明会	県内各大学担当者
	9 月 4 日(日) ～ 5 日(月)	米山奨学生親睦交流会	米山奨学生、カウンセラー、米山学友会
	9 月 17 日(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	クラブ米山奨学委員長
	11 月 26 日(土)	米山奨学生学友会総会	2560 地区米山学友会、米山奨学生、カウンセラー
	11 月 26 日(土)	面接官オリエンテーション	米山奨学生面接官
2017年	1 月 14 日(土)	2017 学年度米山奨学生選考会	米山奨学生面接官
	2 月 4 日(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	現・次クラブ米山奨学委員長
	3 月 4 日(土)	米山奨学生終了式・歓送会	米山奨学生・担当教員、カウンセラー、クラブ米山奨学委員長、米山学友会理事
	4 月 8 日(土)	米山カウンセラー研修会	カウンセラー
	4 月 22 日(土)	米山奨学生オリエンテーション	米山奨学生・担当教員、カウンセラー、米山学友会理事



ロータリー地域協働ネットワークセンター

センター長 鈴木 重彦（長岡 RC）

I. 基本方針

ロータリアンはもとよりロータリー家族と共に「地域と協働するロータリー」を具現するため諸活動を推進するとともに、地域の発展に欠かせない防減災意識を高めるため、地区ガバナースタッフと地区内全てのロータリークラブが連携した活動を進めます。また、他地域での災害復興に資する支援に対してもロータリーの理念を基に、速やかな対応を目指してまいります。

II. センターの活動目的

1. 活動を通じて地域に貢献

：地域内のロータリー活動への認識を高め、ロータリーへの理解を深める事を通じて会員増強への一助とします。

2. 地区内ロータリアンの互助力・共助力を高める

：センターでの活動を通じて会員間のより強固な絆づくりを進めます。

3. 危機管理意識の啓発と行動力の強化

：防減災セミナーを開催し、いざの備えと安全の確保の大切さを周知します。

III. 取り組みの概要

1. 協働団体との連携強化

関係団体との連携を進め、互尊互助の信頼関係を深めます。

2. 緊急時対応の整備

会員の理解と協力の下に、災害への迅速な支援に備えて以下の整備を進めます。

★資機材の提供

★人的資源の確保

★経済的な支援

3. 防減災セミナーの開催…平成28年7月23日（土）

目的：地域内関係団体との連携強化と会員の危機管理意識の向上を図ります。

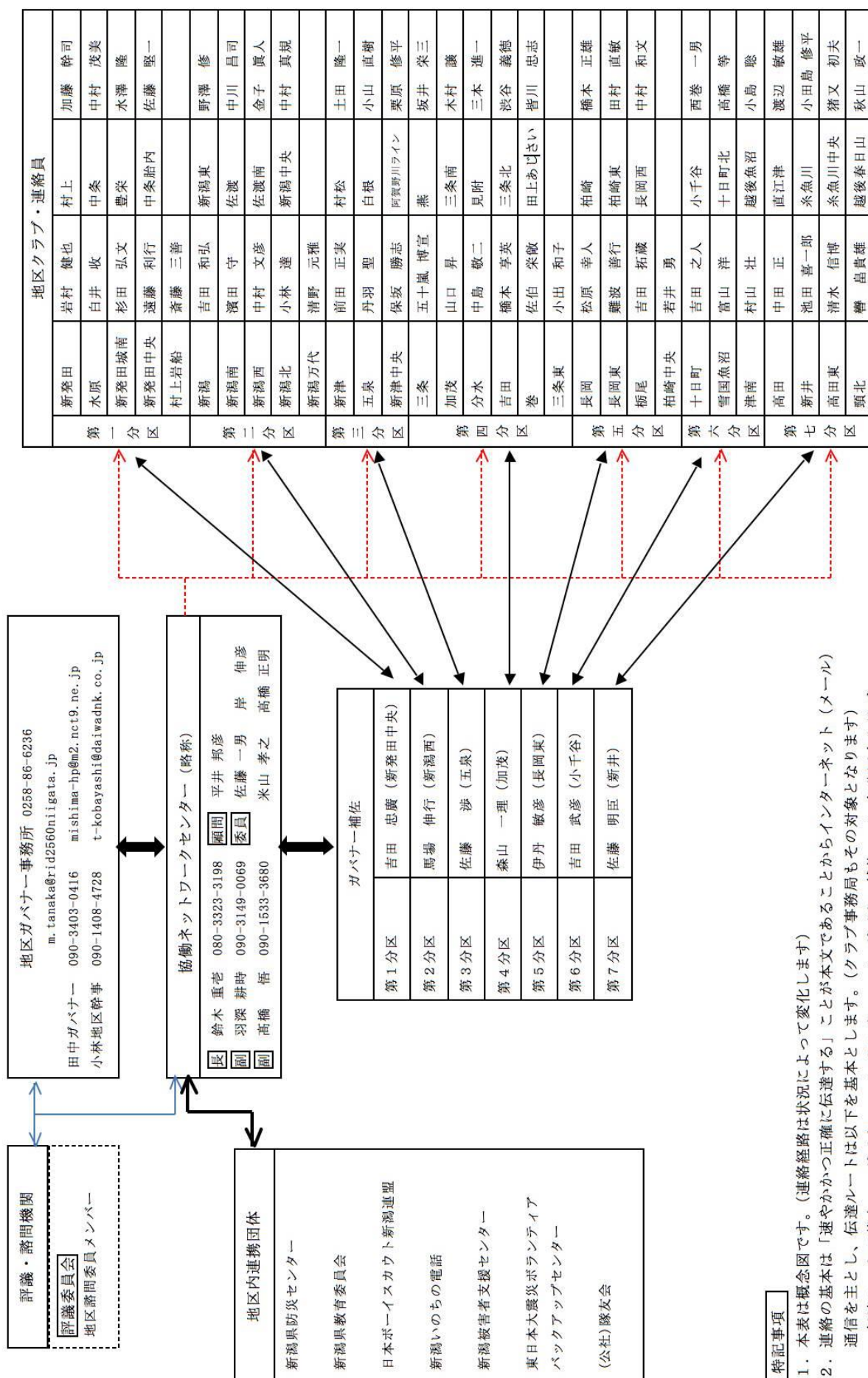
会場：長岡市震災アーカイブセンター

参加対象者：ガバナー、地区幹事、地区財務委員、ガバナー補佐、

田中年度センターの委員

クラブの登録者（ネットワーク緊急連絡網に登録された担当者又は代理者）

2016～2017 ローターリー地域協働ネットワーク緊急連絡網



特記事項

1. 本表は概念図です。(連絡経路は状況によって変化します)
2. 連絡の基本は「速やかかつ正確に伝達する」ことが本文であることからインターネット(メール)通信を主とし、伝達ルートは以下を基本とします。(クラブ事務局もその対象となります)
伝達ルートの基本 ガバナー → センター → ガバナー補佐 → 各分区内クラブへ
3. 詳細な連絡アクセス等は個人情報保護法のためガバナー事務所並びにセンターで管理致します。

2016年6月1日現在

2016-17年度 田中ガバナー公式訪問日程表

 予定あり

※ クラブ名のあとの数字は分区

2016年

2016年6月6日現在

	月	火	水	木	金	土	日
7月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13 新潟南 2	14 小千谷 6	15	16	17
	18	19 三条北 4	20	21 十日町 6	22	23	24
	25 三条南 4	26	27 新潟 3	28	29 高田 7	30	31
8月	1	2	3	4 糸魚川 7	5	6	7
	8	9	10 中条 1	11	12	13	14
	15	16	17	18 越後春日山 7	19 新潟東 2	20	21
	22	23 水原 1・豊栄 1	24 柏崎 5	25 燕 4	26	27	28
	29 村上岩船 1	30 長岡 5	31				
9月				1 新発田城南 1	2	3 第2分区IM 第4分区IM	4
	5 新発田 1	6	7 佐渡南 2	8 佐渡 2	9	10 第1分区IM	11 第5分区IM 第6分区IM
	12	13 新潟中央 2	14 新井 7	15	16	17	18
	19	20	21	22	23 糸魚川中央 7	24 第7分区IM	25
	26 津南 6	27 越後魚沼 6	28 雪国魚沼 6	29 巻 4	30		
10月						1	2
	3 新潟万代 2	4 新潟中央 3	5	6 地区大会記念 ゴルフ大会	7 地区大会記念 ゴルフ大会	8	9
	10	11 直江津 7	12 三条 4	13 加茂 4	14 中条胎内 1	15	16 第3分区IM
	17	18 村松 3	19 頸北 7	20 見附 4	21	22	23
	24 高田東 7	25	26 新発田中央 1	27 村上 1	28	29	30
	31						
11月		1 田上あじさい 4	2	3	4	5 地区大会	6 地区大会
	7	8 分水 4	9 十日町北 6	10 五泉 3 阿賀野川ライン 3	11	12	13
	14	15 柏崎中央 5	16	17 白根 3	18 吉田 4	19	20
	21 新潟北 2	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				
12月				1 三条東 4	2	3	4
	5	6	7	8 新潟西 2	9	10	11
	12	13 栃尾 5	14 長岡東 5	15	16	17	18
	19 柏崎東 5	20 新潟 2	21	22 長岡西 5	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名
新 発 田	波多野 勝樹	2016.6.13	セブンイレブン新発田豊町 4 丁目店
新 発 田	若 槻 直 大	2016.6.13	若槻直大法律事務所
豊 栄	山 田 秀 行	2016.5.10	(有)山田
新 潟	山 田 浩 之	2016.4. 5	全日本空輸株式会社新潟支店
新 潟	清 水 康 次 郎	2016.4.26	清水建設(株)新潟営業所
新 潟	早 田 芳 広	2016.5.17	SMBC 日興証券(株)新潟支店
新 潟	山 田 治 伸	2016.5.31	損害保険ジャパン日本興亜(株)新潟支店
新 潟 東	浪 間 進	2016.5.13	サッポロビール(株)
新 潟 東	有 野 芳 弘	2016.5.20	(株)日立製作所
新 潟 東	笹 川 修	2016.6. 3	新潟冷蔵(株)
新 潟 南	小 川 博 己	2016.5.18	(株)小川
三 条	石 黒 良 行	2016.6. 1	医療法人社団 桂杏会
加 茂	佐 藤 博 和	2016.6. 9	三井生命保険(株) 加茂営業所
長 岡	田 中 直 樹	2016.5.24	日本生命 長岡支社
柏 崎 東	巻 口 実	2016.5.23	新潟産業大学付属高等学校
柏 崎 東	西 山 孝 行	2016.6.13	(有)西山工機
栃 尾	五 十 嵐 崇	2016.6. 1	(有)丸栄機料店
直 江 津	荻 野 修 子	2016.6. 7	(株)ホテルセンチュリーイカヤ
新 井	乗 木 邦 友	2016.6.15	(株)ME I S T E R
糸 魚 川	永 野 克 裕	2016.6.1	永野石油(株)

訃 報



見附 RC 圓田 務 様

5 月 26 日ご逝去

故人のご冥福をお祈りいたします・・・

第2560地区 2015-16年度 5月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	87.77	355	370	37	15
新発田	4	95.66	92	96	0	4
村上	3	85.29	35	35	7	0
水原	3	83.33	23	25	1	2
中条	3	88.57	33	35	3	2
新発田城南	3	93.04	41	40	5	-1
豊栄	4	85.18	26	27	3	1
新発田中央	4	83.33	48	50	5	2
中条胎内	3	83.34	30	32	6	2
村上岩船	3	92.22	27	30	7	3
第2分區(9クラブ)	／	82.73	450	458	19	8
新潟	4	85.57	93	100	0	7
新潟東	3	86.23	64	65	8	1
新潟南	3	80.47	95	98	0	3
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	3	81.26	39	39	1	0
佐渡南	3	90.54	44	43	4	-1
新潟北	3	75.76	45	45	0	0
新潟中央	3	80.00	26	25	0	-1
新潟万代	4	79.08	37	36	6	-1
第3分區(6クラブ)	／	77.91	130	133	8	3
新津	3	73.81	20	20	0	0
村松	4	90.90	10	11	0	1
五泉	3	82.35	17	18	3	1
白根	3	76.19	44	42	3	-2
新津中央	4	74.19	28	31	1	3
阿賀野川ライン	3	70.00	11	11	1	0
第4分區(11クラブ)	／	78.30	358	365	24	7
三条	3	84.39	51	55	0	4
燕	3	60.68	33	33	1	0
加茂	3	83.90	29	29	6	0
三条南	4	90.38	49	51	2	2
分水	4	81.15	32	31	2	-1
見附	3	70.00	19	20	1	1
吉田	4	81.25	32	32	2	0
三条北	4	86.54	63	67	3	4
巻	4	80.00	9	9	0	0
田上あじさい	3	66.70	7	6	1	-1
三条東	3	76.34	34	32	6	-2

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	84.05	310	320	29	10
長岡	4	85.12	40	43	2	3
柏崎	3	69.32	46	46	0	0
長岡東	3	85.80	67	69	8	2
柏崎東	4	89.00	54	53	5	-1
栃尾	3	91.23	21	20	0	-1
長岡西	3	83.68	47	52	6	5
柏崎中央	4	84.19	35	37	8	2
第6分區(6クラブ)	／	84.26	154	158	10	4
十日町	3	98.03	31	34	2	3
小千谷	3	72.37	44	41	3	-3
雪国魚沼	3	73.00	22	24	4	2
十日町北	3	100.00	22	23	0	1
津南	4	88.89	26	27	1	1
越後魚沼	5	73.26	9	9	0	0
第7分區(8クラブ)	／	82.58	320	322	27	2
高田	3	99.52	62	64	0	2
直江津	4	80.51	49	50	3	1
新井	3	71.91	32	31	3	-1
糸魚川	3	71.42	41	42	3	1
高田東	4	88.51	39	37	2	-2
糸魚川中央	3	75.68	37	37	0	0
頸北	3	84.60	14	14	1	0
越後春日山	3	88.49	46	47	15	1

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,077	人
5月末 会員数	2,126	人
女性会員数	154	人
純増減会員数	49	人
当月平均出席率	82.46	%

Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2016年7月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RC

■ 新クラブ設立

- ・第2680地区(第3ゾーン)に西宮イブニングロータリークラブが3月7日に新クラブとして結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸中央西ロータリー衛星クラブが5月12日に会員12名で結成されました。

■ クラブ合併

2016年4月30日付で第2690地区(第3ゾーン)の岡山ロータリークラブと牛窓ロータリークラブが合併しました。合併後は岡山ロータリークラブになります。事務所及び連絡先、例会情報は岡山RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も岡山RCの「1934年4月5日」を引き継ぎます。

■ グランド「BOX」への投稿のお願い

RPICは昨年10月から①「奉仕プロジェクトを考えるヒントの提供」②「広報の仕方」に関する情報提供機能を構築しています。本年度も引き続きクラブや地区が実施した奉仕活動が新聞に掲載させましたら「BOX」への投稿をお願いします。詳しくは地区またはRPICにお尋ねください。

■ 2016-17年度地域別会員増強計画の概要(1、2、3ゾーン)

今年度の会員増強計画の概要として、7項目が成果測定の指標とされました。各地区、各クラブにおきましては目標達成のためご協力をお願いいたします。

- ・全地区が会員増強(入会・参加促進)委員長を任命する。
- ・地域内の30%のクラブが、ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定し、達成状況を記録する。
- ・各地区で新しいロータリークラブを少なくとも1クラブ設立する。
- ・会員の男女比全地区を縮小するため、女性会員の比率を少なくとも2%増やす。
- ・会員の年齢層を広げるため、40歳未満の会員比率を少なくとも2%増やす。
- ・会員維持率を少なくとも1%増やす。
- ・各クラブで会員の50%がMy ROTARYに登録するよう奨励し、My ROTARYの登録者数を増やす。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	832	28,680
Zone 2	653	28,129
Zone 3	793	32,963
合計	2,278	89,772

■ My Rotary 登録者(%)

Zone 1	4,105	14.3%
Zone 2	4,665	16.6%
Zone 3	3,570	10.8%
世界の登録者(%)	289,734	23.4%

■ BOX登録件数

Zone 1	41 件
Zone 2	21 件
Zone 3	79 件

5月末現在 合計 141件

2016年6月1日現在のClub Centralのデータです。



八戸中央西ロータリー衛星クラブの設立例会。5月19日鈴木ガバナーに襟章をつけてもらう工藤議長。



コーディネーターの任期は3年です。私たちは1年目のRCとRPICです。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も第1、2、3ゾーンのロータリーコーディネーター(RC)とロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)そして、それぞれのコーディネーター補佐が輪番制で担当して「コーディネーターニュース」を発行いたします。

ロータリーの戦略計画には「クラブのサポートと強化」、「公共イメージと認知度の向上」、「人道的奉仕の重点化と増加」の3つの優先項目があります。それぞれをRC、RPIC、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)が担当しています。

ゲイリー C.K. ホアン 元会長の言葉を借りますと「ロータリーにおいて奉仕は目的ではありません。それは旅です。いかなる旅にも共通するように、地図があれば旅はいつそう充実したものになります。ロータリー奉仕にとっての地図、それがRI戦略計画です」と述べておりますが、残念ながら日本では一部のクラブを除いては戦略計画の立案と実践は進捗していないのが実情です。私たちコーディネーターは各地区の行事を通して、クラブに導入をしていただくお手伝いをさせていただきます。(Zone 1 RC 酒井正人)



ハイライトよねやま 195

2016年6月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年度の送金はお早目をお願いします —

5月までの寄付金は前年同期と比べ5.2%増、約6,800万円の増加です。普通寄付金が1.3%増、特別寄付金が7.0%増となりました。今年度も昨年度に引き続き、14億円を超す寄付収入がほぼ確定的となりました。ご支援いただきました皆様に心より感謝いたします。**寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日(木)までに当会の銀行口座に入金配拠された分までとなります。**ご送金は、日程に余裕を持ってお送りくださいますよう、今年度最後のご協力をお願い申し上げます。

理事会開催報告 — 来年4月採用数は40人増の780人に —

6月9日に第11回理事会が開催され、全国から28人の理事と監事3人が出席しました。

主な議題として、内閣府立ち入り検査での改善事項に基づく定款・諸規定の改定の件や、2017学年度奨学生採用数の件、2016年度の事業計画案および収支予算案の件、役員候補者指名委員選任の件、株式受領の件などが審議されました。

概ね原案通り承認されましたが、「2016年度収支予算案」については、システム関係費を除いての承認となりました。システム開発については一時凍結の上、専門小委員会を組織して、抜本的な見直しを行うことになりました。

本理事会での承認を受け、2017年4月採用の奨学生数は、好調な寄付実績を反映して、前年度比40人(枠)増の780人(枠)とすることが決定しました。



初代よねやま親善大使・楊小平さんの退任に感謝状贈呈

初代よねやま親善大使として、3年間にわたって活動してくださった楊小平さん(2011-12/東広島21RC)が、今月で任期満了を迎え、退任されます。2013年3月、当会が事業創設60周年を記念して募集した「優秀米山学友賞」に、楊さんは80人を超える応募者の中から選ばれ、同年5月から初代「よねやま親善大使」として活動をスタート。よねやま親善大使の任期は2年間ですが、楊さんには1年間延長していただきました。この3年間で、全国30カ所以上の地区・クラブをまわり、卓話やロータリアン、学友・奨学生との交流を通じて、当会事業への理解を広げることに尽力してくださいました。



6月9日、理事会前に開かれた楊さんの退任セレモニーでは、全国の理事が見守る中、当会の小沢一彦理事長より楊さんに、感謝状が贈呈されました。楊さんは「全国のロータリアンや奨学生と触れ合い、より深くロータリーを理解できたと思う。充実し、学びの多い3年間だった。これからの人生も、米山学友の自覚を持って生きていく。立派な社会人となったあかつきには、自分もロータリアンになりたい」と、思いを込めて語ってくださいました。

ソウル国際大会に米山学友が大集合！

5月28日～6月1日、国際ロータリー年次大会がソウルで開催され、米山記念奨学会では2004年の大阪、2012年のバンコクに続き「友愛の家」にブース出展するとともに、初めての「分科会」を開催しました。今大会には地元・韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各国から多くの米山学友が参加してくれました。学友もロータリアンも「ロータリー」という大きな家族を感じて絆を深めたこのソウル国際大会でのハイライトをご報告します。

【ブース】5月28日～6月1日

米山ブースには連日、多くのロータリアンと学友が来てくださいました。常にブースの外に人があふれている状況で、その様子は、国際ロータリー／Rotary Japanのニュースになるほどでした。韓国学友が民族衣装を着て手伝ってくれたほか、よねやま親善大使も、事業の紹介に大活躍でした。メッセージボードには米山に対する熱い思いが並び、ブースの目玉となりました。3人の元RI会長からもメッセージをいただきました。多くの方のご来場に心から感謝いたします。

【学友合同懇親会 in Seoul】5月28日 18:30～22:00

各国から集まる米山学友と日本のロータリアンとの交流を深めようと、韓国学友会と各国学友会が合同で企画した懇親会が、ソウル市内のホテルで開催されました。学友165人、そのほかロータリアンや家族など参加者は総勢333人！満席の会場は終始熱気にあふれ、各国学友会の楽しい余興も披露され、最後まで参加者を楽しませました。最後は恒例の「手に手つないで」でフィナーレ。300人を超える大団円に、学友とロータリアンの絆が一層強まった素晴らしい懇親会でした。

【学友レセプション】5月29日 13:30～15:00

KINTEX内で開かれたRI主催の学友レセプションには、青少年交換やローターアクトに参加した学友とともに米山学友も多数参加。総勢150人ほどのうち、米山学友は半数以上を占めました。マレーシアの学友が集まって、学友会設立に向けて結束を固めるなど、新たな出会いと交流が生まれました。

【分科会】5月30日 15:30～17:00

米山史上初の「分科会」が開催されました。初公開のオープニング映像の後、台湾の林華明さん、モンゴルのジャンチブ・ガルバドラッハさん、中国の姫軍さんによるスピーチ、そして、台湾・中国・タイ・モンゴル・韓国の各学友会会長が活動報告をしました。約200人の来場者は、学友と日本のロータリアンがほとんどでしたが、興味をもって聞きに来てくれた海外のロータリアンの姿もありました。韓国語の同時通訳は、プロの通訳者として活躍する韓国学友の黄セミさんが担当。彼女の最後のスピーチと全員で歌う「手に手つないで」の締めくくり、参加したロータリアンからは「涙が出るほど感動した」との声も聞かれました。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

文庫通信 (346号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(4)

- ◎「ロータリーにおける歴史の重要性」 平島健次郎 関西ロータリー研究会 1973 53p
- ◎「ロータリーの国際奉仕」 佐竹郁夫 旭川R.C. 1979 20p
- ◎「“ロータリー・徽章の物語”ーロータリーの歴史の歩みと共にー」 長崎南R.C. 1980 94p
- ◎「合理化時代と職業奉仕」 西村祥三 関西ロータリー研究会 1983 24p
- ◎「ロータリーは何をしているか」 鳴海淳郎 1986 19p
- ◎「新会員のためのロータリーの歴史」 佐藤 佶 1987 48p
- ◎「米山梅吉翁物語」 長泉R.C. 1989 26p
- ◎「ロータリー事始」 佐藤 佶 福島南R.C. 1996 38p
- ◎「ロータリー雑学のすすめ」 長崎南R.C. 1996 86p
- ◎「ロータリーマジック」 江崎柳節 2010 197P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日